



まつえだより

11月
November



11月号は、歯周病と糖尿病の深い関係① についてです



糖尿病を患う方は歯周病になりやすいことがわかってきました。

一方で、歯周病になると血糖コントロールが悪くなるとも言われています。

毎日ケアを行い口の中の健康にも気をつけましょう

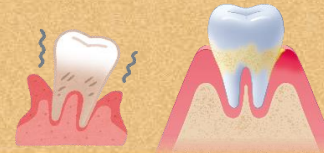
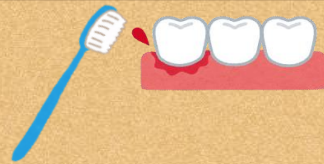
口の中をチェックしましょう



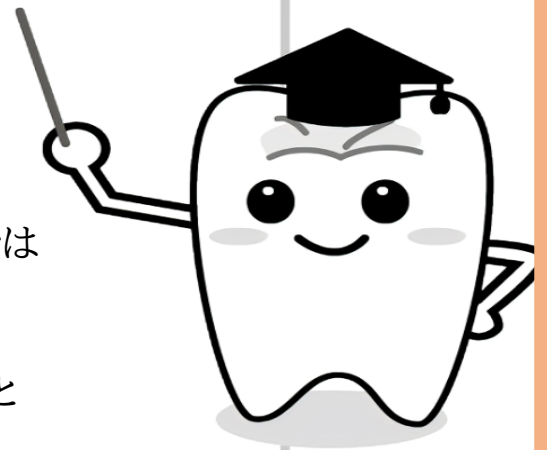
お口の健康は、毎日の食事や会話にもつながるとても身近なものです。

みなさんは、以下のようなお口のトラブルを自覚することはあるでしょうか？

- ・ ハブラシの時に出血する
- ・ 起きたときに歯肉に違和感がある
- ・ 口臭を指摘された
- ・ 歯肉が下がって、歯が長く見えるようになった
- ・ 体調が悪くなると歯肉が腫れる
- ・ 歯の揺れを感じることもある



「歯周病」には、炎症が歯肉に局限した「**歯肉炎**」と、歯を支えている歯槽骨が破壊されて歯を失ってしまう「**歯周炎**」があります。上の症状が複数当てはまると、「歯周炎」の可能性が高く、歯科医院での治療が必要となります。歯周病は糖尿病と相互に悪い影響を及ぼします。糖尿病をお持ちの方では歯周病が悪化しやすく、歯周病があると糖尿病の血糖コントロールが難しくなることがわかっています。そして最近の研究では、歯周病の治療をきちんと行うと血糖値が改善するということがわかっています。



健康な歯

歯肉炎

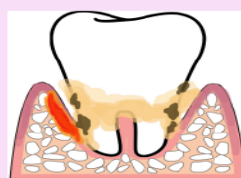
歯周炎



清潔に保たれて、出血のない健康な状態



プラークが蓄積し、歯肉に炎症を起こし、出血する



歯周ポケットができ、歯石がたまり、膿が出る。歯を支える骨も溶けている。



ハニヨイ

☎075-711-8241